えちご中越米「重点指導事項」　マンダラチャート（基本版）

2026.04.01

大谷翔平選手マンダラチャートの考え方で具体的な事項を整理してみました。

「マンダラチャート」は一般社団法人
マンダラチャート協会の登録商標です
https://mandalachart.jp/

カメムシ防除② 畦畔・農道除草 （イネ科雑草）	草種等に合せた 有効成分の選択	カメムシ防除③ 農薬適期散布 ドローン活用
ほ場に合せた 除草剤・剤型選択 （土質・水持ち）	**⑥　効果的な雑草 病害虫対策**	地域に合せた 初期病害虫 箱施用剤の使用
カメムシ対策① 水田内除草 （ヒエ・ホタルイ）	ほ場均平・漏水防止 生育均一化 除草剤効果：大	品種に合わせた 予防防除 いもち病（新之助） 紋枯病

弁当肥 活着促進	適切なハウス 温度管理	活着後 浅水管理
田植えに合せた 適期播種	**③　健苗育成 良質茎早期確保**	コシヒカリ 8/5以降出穂 適期田植え
品種・作期 播種量・栽植密度	苗の３重苦回避 徒長苗・老化苗 深植え	表層剥離・藻 ワキ発生防止 夜間落水

胴割粒発生防止① 適期収穫	③高温登熟時 ・フェーン時 早期収穫開始	胴割粒発生防止② 籾水分と乾燥速度
②籾の黄化程度 ８５～９０％	**⑦　適期収穫 適正な乾燥調製**	適期内収穫 カントリー エレベータ活用
選別網目 1.85mm以上 エコヒカリ：1.90mm	①収穫適期情報 出穂後積算気温	カメムシ斑点米 防除前提 色彩選別機利用

適正基肥量 施　用	堆肥・ケイフン ケイ酸資材施用 （特に低地力ほ場）	ほ場均平・漏水防止 生育均一化 除草剤効果：大
作土深15cm確保 回り耕ち	**②　土づくり 元気な根づくり**	稲わら・籾殻 秋すき込み
稲わら 腐熟促進剤活用	土壌分析 スマート技術 ザルビオの活用	代かき 練り過ぎ注意

⑥　効果的な雑草 病害虫対策	**③　健苗育成 良質茎早期確保**	**⑦　適期収穫 適正な乾燥調製**
②　土づくり 元気な根づくり	**量・質　兼備 えちご中越米**	**④　適期中干し こまめな水管理**
⑤　後期栄養確保 倒伏防止	**①　リスク分散 作付計画**	**⑧ こしいぶき 高品質安定生産**

大豆栽培翌年 基盤整備後 強め中干し	本格的梅雨前 過剰分げつ抑制 （適正生育量確保）	間断かん水 飽水管理の徹底 フェーン時対応
中干し：程度 基本：小ヒビ 湿田：強　め 出穂１か月前目途	**④　適期中干し こまめな水管理**	強・弱の見極め ①生育・倒伏懸念 ②地力・排水良否
ワキ発生防止 一時落水	田植え後 １か月目途開始 中干し・溝切り	最終かん水 出穂後25日以降

本格的梅雨前 過剰分げつ抑制	穂肥１回目 籾数確保・葉色維持 倒伏防止	本格的梅雨前 地耐力確保
葉色・草丈で 穂肥診断	**⑤　後期栄養確保 倒伏防止**	穂肥２回目 後期栄養維持
高温時穂肥３回目 出穂３日前まで 施肥量上限施用	基　肥 （一発・分施） 施用量の確認	間断かん水 飽水管理の徹底 フェーン時対応

出穂時フェーン 遭遇リスク回避 複数品種の栽培	コシヒカリ 田植え時期分散	フェーン時対応 用水機場単位 作付エリア調整
コシヒカリ 8/5以降出穂 適期移植	**①　リスク分散 作付計画**	直播栽培の導入 たん水直播 乾田直播
高温対策 高温耐性品種 新之助・にじきら	規模拡大 適期作業対応 作付品種の選定	水利条件不利地 ＷＣＳ等 麦・大豆への転換

深植え是正 良質茎・穂数確保	健苗育成	６月１０日目途 中干し開始
慣行栽培移行 高品質安定生産	**⑧　こしいぶき 高品質安定生産**	完熟発酵ケイフン みらい有機831等 基肥窒素量補填
適正栽植密度 ６０株/坪以上	特栽米需要量 生産数量確保	積極的穂肥 施肥量上限施用